

	実態・課題
施設概要 ・ 配置状況	- 近隣センターは、市民に自主的な活動の場を提供し、市民相互の交流を支援して、地域づくりに関する事業を推進していくために設置された施設で、おおむね1コミュニティエリアに1施設、市内に23施設配置されている。 - 出張所+図書館分館との複合施設になっている施設は8施設、そのほか図書館分館との複合施設は7施設で、地域活動の拠点施設となっている。 - 敷地外に体育館を保有している施設は3施設、敷地内に体育室（館）を保有している施設は9施設となっている。 - 立地適正化計画の都市機能誘導区域内に立地している施設は8施設である。 課題 ✓ <u>地域づくりの拠点・地域コミュニティの拠点施設として、図書館分館や児童センター等と複合化していることは意味があるが、各機能の利用者間の交流が少ないのが課題。</u>
建物状況	23施設中12施設が築40年以上経過している。 - 柏市公共施設等総合管理計画「短期保全計画」に基づき、平成31～令和4年度に24件の保全工事（防水・空調・受変電設備）を実施している。 課題 ✓ <u>施設の過半が築40年以上経過し、バリアフリー等の対応が不十分な施設もあり、一斉に改修等の更新時期を迎える。</u>
利用状況 ・ コスト状況	- 近隣センター23施設の年間利用者数は、平成24から26年度は約99万人で推移していた。新型コロナウイルス感染症の影響もあり令和2年度は利用者が減少したが、令和4年度時点では約73万人とコロナ前の約7割程度まで回復している。 - 稼働率は全施設平均40.8%で、施設別では手賀近隣センターの15.8%から柏中央近隣センターの59.0%となっている。 - 諸室別では、多目的ホールや音楽室などの稼働率が80%以上と高く、料理実習室は施設によっては10%未満のところもある。体育室および体育館の稼働率はいずれも50%以上で利用が多い。 - 利用者1人当たりコストでは割高な施設もある。 課題 ✓ <u>新型コロナウイルス感染症の影響で稼働率が下がった。</u> ✓ <u>固定利用者が多く、新たな利用者が少ないのが課題。</u>

	第1期の振り返り
できたこと	- 南部近隣センターの改修（リノベーションモデル事業）を平成29年から令和元年に実施。1年かけて10回の市民ワークショップを行い、多世代交流、公園との一体化、ワンストップサービスなどを実現した。 - 高田近隣センターの改修も南部近隣センターリノベーションモデル事業を参考に行っており、令和5年10月から改修工事を実施、令和7年4月オープンを予定。
できなかったこと	- 第1期から第2期に「改修」とした6館の改修については、大規模な改修計画策定は行っていないが、建物設備の保全工事は実施している。 「豊四季台近隣センターの移転複合化」は、移転先は決まっておらず、URの動向などを踏まえ、今後計画策定を行っていく。 - 近隣センター本館と別敷地にある体育館（豊四季台、南部、西原）については、第1期において「スポーツ施設へ転用」とあるが、地域づくりの推進の観点から、あり方を検討している。

	直近の取組
条例改正	平成24年に「生涯学習を実施する」から、「<u>地域づくりを推進する</u>」に条例改正を行った。現状では、地域づくりを推進するための取組は各館主体になっており、頻度や内容は施設によって異なっている。
受益者負担の検討	受益者負担については、基準25%に対し達成している近隣センターは無い。平成26年4月に面積を基に料金見直しを実施して以来、南部KCのリノベ実施時も料金値上げを実施していない。<u>今後、全庁的な見直し方針に合わせ、検討していく。</u>
施設の整備方針策定検討	- 令和5～6年に総合管理計画の改訂とあわせて実現可能なスケジュールや整備の内容及び手法の方針を策定する。以下の内容等を想定。 （1）整備の方針：一部、他の公共施設への移転、複合化（学校等）を検討 （2）整備の計画：移転場所の有無、複合化・廃止の可否、整備内容の検討等 （3）整備の手法：民間（PPP）、補助金・地方債の活用等の検討
施設の運営方針策定検討	- 令和7年からは、持続可能な施設運営に向けたICT化の推進と維持管理コストの削減等の方針を策定する。以下の内容を想定。 （1）ICT化の推進：DX推進ガイドラインに基づくICT技術の導入検討 （2）コスト縮減：民間ノウハウの活用（指定管理制度等）、PPPの活用 （3）受益者負担の見直し：利用料金の見直し

施設類型別実態把握【近隣センター】

※各項目で出典の記載がないものは、令和5年度調査の集計結果です

① 施設一覧

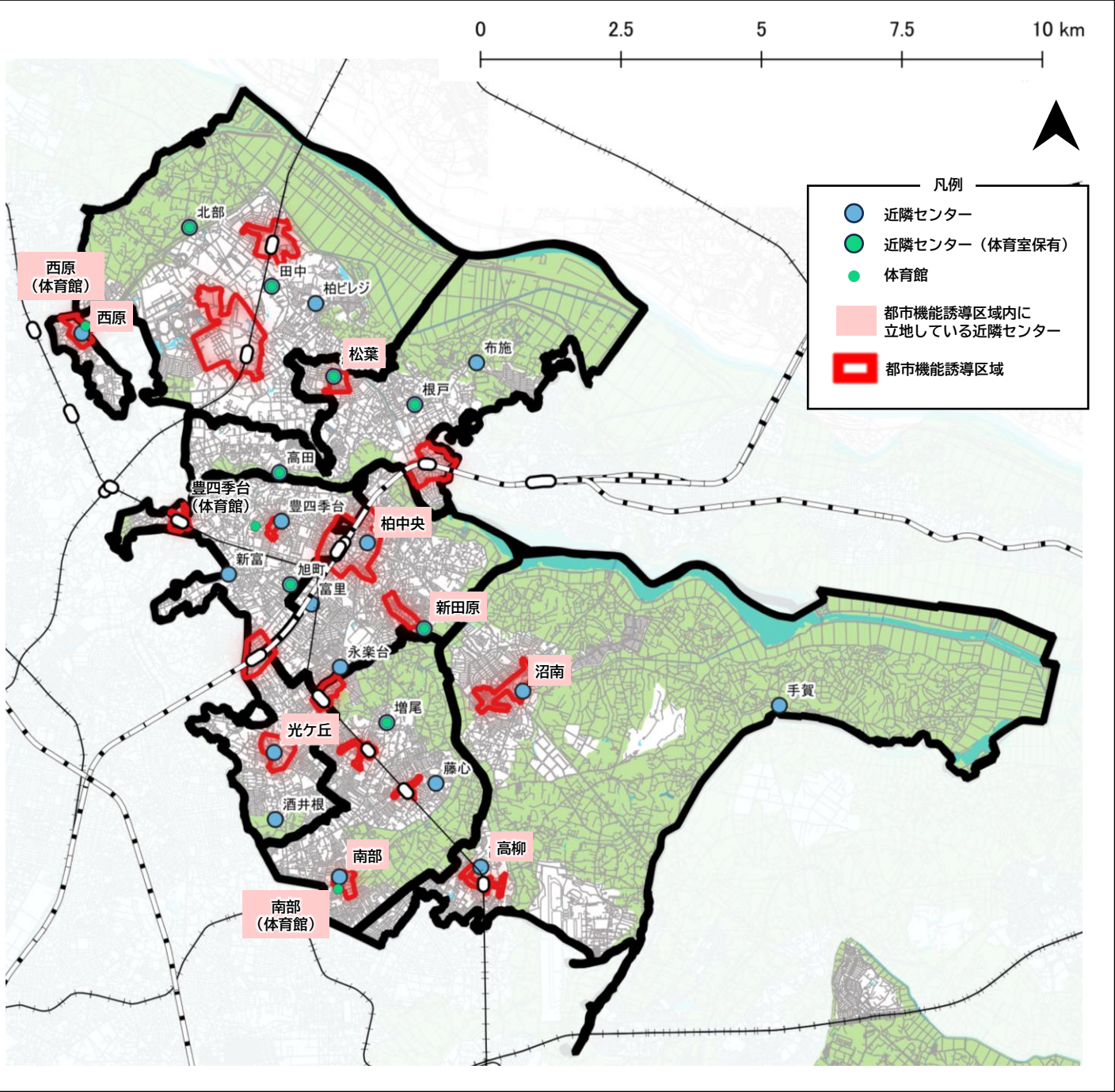
■ 築40年以上 ▲ 近隣センターに併設していない体育館

中圏域	No	施設名	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数 (年)	出張所	図書館	いきいきセ ンター	体育室	ホール	調理室	備考
北部1	1	田中近隣センター	921.5	1979	44	●	●	●	●		●	
		田中近隣センター体育室（館）	405.0									
	2	西原近隣センター	493.0	1978	45	●	●				●	
		西原近隣センター体育館	626.7	1987	36				▲			
	3	柏ビレジ近隣センター	400.0	1981	42						●	テニスコート2面
	4	北部近隣センター	592.4	1989	34				●	●		多目的ホール：62㎡
北部2		北部近隣センター体育室（館）	415.0									
	5	布施近隣センター	1,031.4	1979	44		●	●			●	
	6	高田近隣センター	739.8	1986	37		●		●		●	
		高田近隣センター体育室（館）	369.0									
	7	根戸近隣センター	880.7	1977	46		●		●		●	
		根戸近隣センター体育室（館）	417.0									
中央1	8	松葉近隣センター	878.6	1987	36	●	●	●	●	●	●	多目的ホール：54㎡
		松葉近隣センター体育室（館）	416.0									
	9	旭町近隣センター	947.0	1995	28				●	●	●	多目的ホール：50㎡
		旭町近隣センター体育室（館）	417.0									
	10	豊四季台近隣センター	1,000.9	1982	41	●		●			●	
		豊四季台近隣センター体育館	1,012.2	1996	27				▲			
中央2	11	新富近隣センター	981.9	1984	39		●	●		●	●	多目的ホール：121㎡
	12	永楽台近隣センター	681.5	1979	44		●				●	
	13	富里近隣センター	595.6	1981	42						●	
	14	新田原近隣センター	649.4	1984	39		●	●	●	●	●	多目的ホール：76㎡
		新田原近隣センター体育室（館）	400.0									
	15	柏中央近隣センター	1,810.7	1998	25						●	アミューゼ柏（親施設） クリスタルホール：400席 固定（グランドピアノ） 音楽室：40名
南部1	16	南部近隣センター	987.0	1978	45	●	●	●			●	
		南部近隣センター体育館	798.1	1993	30				▲			
	17	増尾近隣センター	963.3	1980	43	●	●		●		●	
		増尾近隣センター体育室（館）	386.0									
南部2	18	光ヶ丘近隣センター	1,156.0	1981	42	●	●	●		●	●	多目的ホール：48㎡ 光ヶ丘遊戯室
	19	藤心近隣センター	784.4	1987	36	●	●			●	●	多目的ホール：142㎡
	20	酒井根近隣センター	755.1	1989	34				●	●	●	多目的ホール：71㎡
		酒井根近隣センター体育室（館）	391.0									
沼南	21	高柳近隣センター	867.9	1994	29	●	●	●		●	●	多目的ホール：168㎡
	22	沼南近隣センター	3,536.8	1981	42		●			●		大ホール：900㎡ 多目的ホール：33㎡ 音楽室A、B：55㎡、12㎡
	23	手賀近隣センター	667.4	2016	7					●		多目的ホールA：105㎡ 多目的ホールB：87㎡

※建築年度は、受領資料「★計画対象施設数、面積（R4年度末）」に記載された建築年度を記載しています

- 近隣センター23施設のうち、体育室（館）を有する施設が9施設、近接地に体育館を有する施設が3施設ある。
- 築40年以上経過している施設が12施設
- 都市機能誘導区域内に8施設が立地している。

② 配置状況



③ 運営状況

閉館日	年末年始（12月29日から1月3日まで）第3月曜日。 施設・設備点検、館内清掃等の臨時休館日
開館時間	月～日祝：9：00～21：00
設置目的	市民に自主的活動の場を提供し、市民相互の交流を支援し、及び地域づくりに関する事業を推進することにより、市民と行政とが一体となって、潤いとゆとりのあるふるさとを築く